

2日間
豪華2作品
上演!



海外招へい企画
Stuffed Puppet Theatre (オランダ)公演

パンチとジュディ / バビロン

アフガニスタンのパンチとジュディ
8月14日(水) 19:00-
バビロン
8月15日(木) 19:00-

日時 <開場・受付開始は30分前>
2019年
8月14日(水) 19:00
アフガニスタンのパンチとジュディ
8月15日(木) 19:00
バビロン

料金 <全自由席>
一演目券 一般前売: 3,200円
会員前売: 2,800円
当日: 3,500円
二演目券 一般前売: 6,000円
会員前売: 5,500円

会場
損保ジャパン日本興亜人形劇場
ひまわりホール
名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル19F

※「あいちトリエンナーレ2019」国際現代美術展1DAYパスおよびフリーパス(特別先行前売、前売を含む)提示の方は会員前売価格にて入場出来ます。

お申込み 特定非営利活動法人 愛知人形劇センター ☎ 052-212-7229 平日10:00~18:00
お問合せ ✉ mail@aichi-puppet.net 🌐 http://aichi-puppet.net/

情の時代
A
あいち
トリエンナーレ
2019
連携企画事業

アフガニスタンの パンチと ジュディ

Punch & Judy in Afghanistan

8月14日(水) 19:00



セカンド・チャンス!

アフガニスタンへようこそ!

ろくでもない人生を過ごしてきた若者・エミール。そんな彼に与えられた『セカンド・チャンス』とは、人形遣い・ナイジェルの助手としてアフガニスタンの軍隊慰問へ同行することだった。

乗ったラクダが暴走し、行方不明となるエミール。その行方を追ったナイジェルは、たどり着いた先で、恐ろしい人物に遭遇する…。

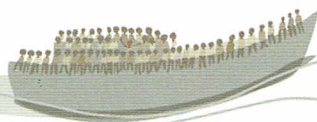
あふれるユーモアと風刺。欧州各国で話題を呼んだ、ネヴィルの舞台。

(上演時間 55分)

バビロン

Babylon

8月15日(木) 19:00



時は来た……!!

とある海岸で密航ボートが待っている。約束の地『バビロン』への最終便だ。最後の乗客を待つ船長の怒号が響く。

金はあるのか!?

動物はダメだ。ノアの箱舟じゃないんだぞ!

乗り込む者、取り残される者・・・それぞれの思惑が交錯する船着場に、神の子が現れる。悪魔の誘惑。父なる神の嘆き。人々の運命を握るのは……?

欧州が直面する移民問題に真正面から取り組み、世界各地で絶賛された、ヨーロッパ人形劇界の最高峰ネヴィル・トランターの最新作。

(上演時間 65分)

作・演出・美術・出演：ネヴィル・トランター "Neville Tranter"

ネヴィルは、政治や世界で起こっていることを考えるとはいけません。彼が何を考えているか、声高にもいいません。ただ、観客席にいと、観ているものとしては、大いに笑いがらも、帰り道になにか考えさせられるのです。ユーモラスな人形の表情をおもいだしながら、古い歴史を紐解くのではなく、また未来をただ憂うでもなく、私たちはまごうことなく、今現在、歴史の線上に生きている…と、思わせてくれるのです。

彼は今、トランク二つで仕込みにも時間をかけず、気軽に「創作芝居」をもって、フラッとやってきては、世界におきているさまざまな国の、さまざまな地域の人間模様を描いて、笑わせたり、嘆かせたりする、鋭くもシャイな旅人・芸術家なのです。

(国際人形劇連盟 世界ユニマ 評議員 おなぎたみこ)

[チケット] ■一演目券

一般前売:3,200円/会員前売:2,800円/当日3,500円

■二演目券(前売のみ)

一般前売:6,000円/会員前売:5,500円

※「あいちトリエンナーレ2019」国際現代美術展1DAYパスおよびフリーパス(特別先行前売、前売を含む)提示の方は会員前売価格にて入場出来ます。

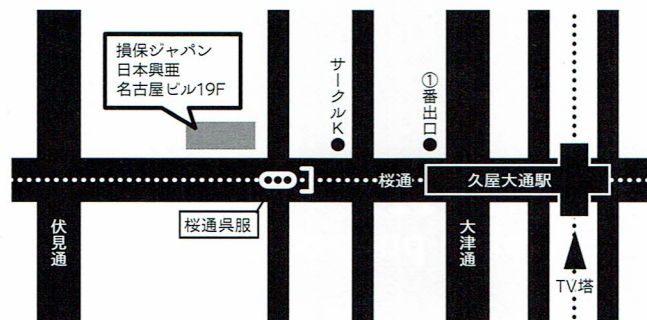
損保ジャパン日本興亜人形劇場



名古屋市中区丸の内3-22-21 損保ジャパン日本興亜名古屋ビル19F

※名古屋市中地下鉄「久屋大通駅」西改札①番出口より徒歩3分。

※駐車場はございません。公共交通機関もしくは最寄のコインパーキングをご利用下さい。



[ツアースケジュール]

2019年7～8月 札幌・新宿・飯田・東かがわ・三次・名古屋
全国6都市ツアー公演

札幌市	こどもの劇場やまびこ座(7月27・28日)
新宿	ブーク人形劇場(7月29日～8月1日)
飯田市	飯田人形劇場(8月3・4日)
東かがわ市	人形劇場とらまる座(8月9・10日)
三次市	三次市民ホールきりり(8月12日)
名古屋市	損保ジャパン日本興亜人形劇場ひまわりホール(8月14・15日)

Stuffed Puppet Theatre (スタッフド・パペット・シアター)



主宰：ネヴィル・トランター／オーストラリア生まれ。1976年、Stuffed Puppet Theatreを設立。1978年、アムステルダム演劇祭への参加を機にオランダへ移住。劇団を旗揚げ以来、一貫して現代の社会問題、人間模様を彼独自の視点で描き、作・演出・出演と独り舞台を次々と発表し続けている。人形劇フェスではネヴィルの新作＝行列(切符)が定説となっているほどの実力者。欧州のみならず世界中で活躍を続け、圧倒的な演技力で観客を魅了している。

Illustration & Design by Ryoojing Seki (a69)